

(参考資料)

① 事業セグメント別の営業損益見通し

(単位:億円)

	平成17年度 (前回見通し)		平成17年度 (今回見通し)		平成16年度 実績 年度
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼事業	2,450	5,050	2,550	5,150	4,563
エンジニアリング事業	△ 70	60	△ 90	△ 20	53
都市開発事業	1	23	1	24	24
LSI事業	0	10	4	17	19
消去又は全社	19	57	35	29	11
営業利益	2,400	5,200	2,500	5,200	4,672

② 粗鋼生産量(JFEスチール)

	(単独ベース)	(連結ベース)
平成16年度第1四半期	698万t	794万t
平成16年度上期	1,394万t	1,580万t
平成16年度下期	1,371万t	1,548万t
平成16年度通期	2,765万t	3,128万t
平成17年度第1四半期	695万t	790万t
平成17年度上期見込み	1,365万t	1,544万t

③ 鋼材輸出比率(JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)

平成16年度上期	44.0%
平成16年度下期	44.4%
平成16年度通期	44.2%
平成17年度第1四半期	44.3%
平成17年度上期見込み	43.3%

④ 為替レート(円/\$)前提

平成17年度見込み : 1円の円高に対して、10億円程度の減益
(ドル収支では、10億\$ / 年程度の受取超過)
下期計画は105円/\$で策定

⑤ 鋼材平均価格(JFEスチール, 単独ベース)

平成16年度上期	57.7千円/t
平成16年度下期	65.7千円/t
平成16年度通期	61.7千円/t
平成17年度第1四半期	73.0千円/t
平成17年度上期見込み	75.0千円/t

⑥ 有価証券含み損益(JFEホールディングス, 連結ベース)

平成16年度上期末	733億円(含み益)
平成16年度末	1,232億円(含み益)
平成17年度上期末見込み	1,400億円程度(含み益)

⑦ 特別損益の内訳(JFEホールディングス, 連結ベース, 単位:億円)

	平成17年度 上期見込み	平成17年度 通期見込み
資産処分損等	△150億円	△300億円

⑧ 借入金社債等残高及び支払金利(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	借入金社債等残高		支払金利
平成16年度上期末	17,397	平成16年上期	△ 114
平成16年度末	14,467	平成16年度	△ 217
平成17年度末見込み	12,300 程度	平成17年度見込み	△ 170 程度

⑨ 設備投資と減価償却費(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成16年度 実績	平成17年度 見通し
設備投資額	1,572	1,600程度
減価償却費	1,797	1,800程度

⑩ 経常利益の増減内容(平成17年度通期見通し、対平成16年度実績比較)

鉄鋼事業	+497億円(4,503億円→5,000億円)
(内容) コスト変動	+380 (金融収支も含めたコスト変動額は、+460)
為替レート	△ 10 (レート 107.2→106.9(為替予約前) △0.3円円高)
原料価格	△ 2,500
数量,構成,価格	+2,640 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
その他	△ 13
エンジニアリング事業	△87億円(87億円→0億円)
(内容) 橋梁関連の告発・起訴に伴う指名停止の影響、並びに一部工事における 資材費増等による採算悪化などにより、悪化する見通し。	
都市開発事業	+1億円(22億円→23億円)
(内容) 分譲マンションの引渡戸数減により減収となるも、コスト削減等もあり、利益は微増の見込み。	
LSI事業	△3億円(18億円→15億円)
(内容) 薄型テレビ、液晶パネル向け製品の出荷が好調であるが、デジタルカメラ向け製品、液晶 パネル向け製品の価格ダウンがあり、増収であるが減益の見込み。	

以 上